

## 近現代史(39)「ロシア革命」

○今回のポイント

三月革命で帝政を倒し、十一月革命でソヴィエト政権を樹立したロシアは、干渉戦争を戦時共産主義で戦い抜き、ネップで経済を復興させた。

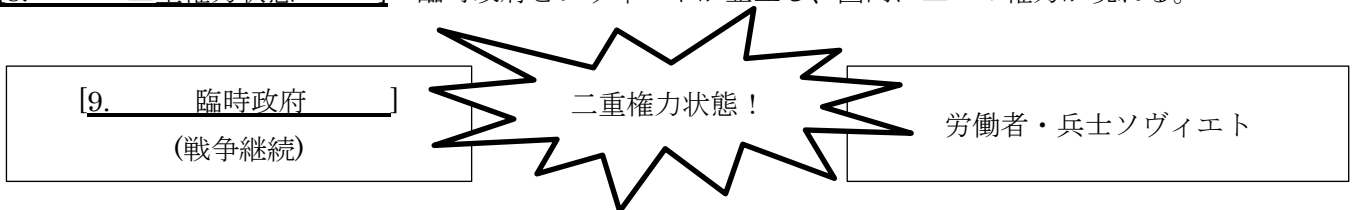
<ロシア革命>

【1】[1. 三月革命 ](露暦二月革命)

- 1914 三国協商側で参戦するが、[2. タンネンベルクの戦い ]でヒンデنبルクに大敗。  
↓  
※都市への燃料・食料の供給が低下
- 皇帝・政府は対策を十分にとらず → 戦争継続に反対する声が民衆に広がる。  
↓  
・1916年 夏 動員に抗議する[3. 中央アジア諸民族 ]の抗議  
↓  
・1917年 3月 首都[4. ペトログード ]でパンと平和を求める
- 労働者・兵士は[5. ソヴィエト ](評議会)を組織し革命を推進、[6. ニコライ 2 世 ]を退位させロマノフ朝を倒す。

【2】[7. 十一月革命 ](露暦十月革命)

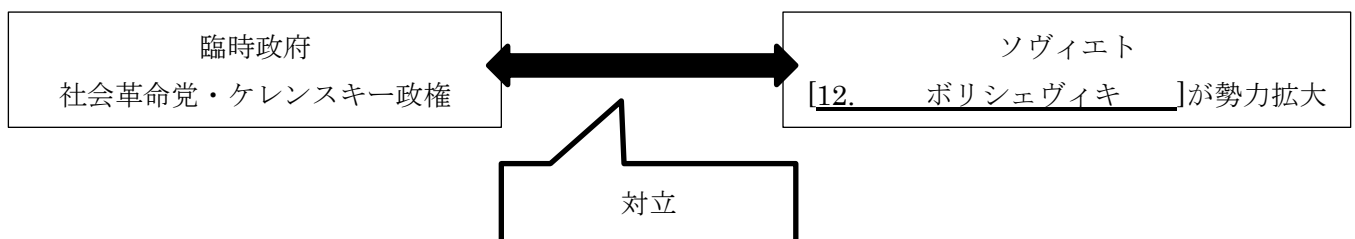
①[8. 二重権力状態 ]…臨時政府とソヴィエトが並立し、国内に二つの権力が現れる。



※この間に、農民革命(農村において土地を求める)・民族革命(ウクライナ・フィンランド)が進行。

②1917年 4月 スイスからレーニン帰国「[10. 四月テーゼ ]」(すべての権力をソヴィエトへ)

③臨時政府、社会革命党[11. ケレンスキー ]を首班として勢力を立て直そうとし、ソヴィエトと対立。



④1917年 9月 [13. コルニーロフ ]将軍の反政府反乱の鎮圧にボリシェヴィキが協力、勢力が全国に拡大。

⑤1917年 11月 7日、レーニンと[14. トロツキー ]が武装蜂起して、政府を打倒。

- ・「[15. 平和に関する布告 ]」: 全交戦国に無併合・無償金・民族自決の原則による講和を呼びかける。
- ・「[16. 土地に関する布告 ]」: 農民革命を認め土地の私有権を廃止する布告。生産手段を公有化し社会主義政策の第一歩を踏み出した。

